

はじめに

本市では、ボートレース事業の収益に支えられた諸施策の推進と組織の肥大化が財政状況の悪化を招いたとの反省に立ち、これまで市民の皆様のご理解とご協力を得ながら、職員一丸となって行財政改革を推進してきました。

しかしながら、基金からの繰入金による財源補てんに頼りつつ財政運営を行う状況が続いており、また、急速な少子高齢社会の進行や地域間競争の激化、老朽化した公共施設への対応などが喫緊の課題となっているなど、本市をめぐる財政情勢は依然として厳しい状況にあります。

このような中、今後も将来負担に配慮した財政の健全性を維持しながら、人や企業に選ばれる活力と魅力のあるまちづくりを進めるためには、行財政改革の一層の推進が必要です。

本計画には、現時点で取り組まなければならない項目を列挙しましたが、市民ニーズをはじめ、本市を取り巻く環境は日々刻々と変化しており、その変化に速やかに対応し、本計画を着実に実行していくためには、限りある人的、物的資源を最大限に有効活用できる行財政運営の構造改革と職員の意識改革が不可欠です。

また、市の総合力を高め、第六次総合計画に掲げる将来都市像を実現していくためには、行政内部の改革だけではなく、行財政改革と本市経済の活性化を両輪と捉え、定住人口の確保や交流人口の増加、雇用の確保、産業の振興など、市全体の基礎体力を培う地域活性化施策についても、早期に取り組んでいく必要があることから、今後、国が示した総合戦略や長期人口ビジョンに基づき、平成27～31年度の5か年を計画期間とする「鳴門市版総合戦略」および「鳴門市人口ビジョン」を策定することとしています。

こうした状況を受け、今後数年間の取り組みが、将来の鳴門市の有り様を決定づけるとの認識に立ち、市内各地・各分野で活躍されている市民の皆様の「市民力」と、市職員や各部署が改革・改善に挑戦する「職員力」、この2つの総合力をもってこれらの課題に積極的に取り組むことにより、「今」ある危機を乗り越え、「未来」を切り拓くことができると確信していますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

鳴門市長 泉 理彦